

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/>

今年度第1号のメールマガジンをお届けします。受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝えしますので、ご活用ください。

- 高校の特色ある取組
- 学校紹介スペシャル
- コラム
- お知らせ

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyouiku/koukou.html>

■ もくじ ■

- 1 公立高校情報の提供について
 - (1) 地区別公立高校合同説明会の開催
 - (2) 公立高校オープンキャンパス（学校説明会）の開催
 - (3) 公立高校ガイドブックの掲載予定
 - (4) 公立高校文化祭日程一覧の掲載予定
- 2 高校の特色ある取組
 - (1) 白石高等学校
＜東北大学合格者16名（現浪合計）の快挙＞
 - (2) 村田高等学校
＜夢と志を持った生徒の進路目標を確実に達成できる学校です。＞
 - (3) 泉館山高等学校
＜生徒一人ひとりの夢の実現を目指して＞
- 3 学校紹介スペシャル
 - (1) 柴田農林高等学校川崎校
＜県下で最も小さな全日制普通科高校の挑戦＞
 - (2) 宮城第一高等学校
＜自主・自律＞
- 4 コラム
 - (1) (1) 水産高等学校 教諭 平居 高志
＜水産高校の春＞
- 5 編集後記

■ 1 公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□ (1) 地区別合同説明会の開催

各地区内のすべての公立高校が参加して、地区別合同説明会が開催されます。説明会では、参加校が学校の教育内容や特色ある取組について15分程度説明し、その後5分程度の質疑の時間が設けられます。さらに、学校ごとの個別質問コーナーも設置されます。

また、平成25年春に1回目を実施された公立高校の新しい入試制度についての説明や質問コーナーもあります。

事前の申込は必要ありませんので、中学生の皆さん、保護者の皆様の多くのご来場をお待ちしております！

なお、会場によっては駐車場がありませんので、公共交通機関の利用をお願いします。

各会場の開催日時と開催会場は次のように予定されております。

◇仙南会場	6月29日(土)	10:00~15:40	名取北高等学校
◇大崎会場	7月6日(土)	10:00~15:30	大崎合同庁舎
◇登米会場	7月6日(土)	10:00~13:00	佐沼高等学校
◇栗原会場	7月6日(土)	10:00~13:30	築館高等学校
◇石巻会場	7月7日(日)	9:40~14:20	石巻専修大学
◇仙台会場	7月13日(土)	10:00~15:30	仙台商業高等学校
◇本吉会場	7月27日(土)	10:00~14:00	気仙沼高等学校

地区ごとの開催時間や学校の説明時間などの詳細は、5月中旬に各中学校へお知らせしました。また、高校教育課のホームページにも掲載してありますので、アクセスしてみてください。

→<ホームページはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/kyo-top.html>

□ (2) 公立高校オープンキャンパス(学校説明会)の開催

今年度も夏休みを中心に、各高校においてオープンキャンパス(学校説明会・一日体験入学)が開催されます。教育内容の詳しい説明や施設見学、さらには模擬授業や部活動体験など、各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。一つの学校に限らず、多くの学校のオープンキャンパスに、ぜひご参加ください。

高校ごとの開催日時や実施内容、申込方法などは、6月10日頃に各学校へお知らせする予定です。高校によっては、パソコンや携帯電話からも申込が可能です。くわしくは高校教育課のホームページに掲載しますので、しばらくお待ちください。

□ (3) 公立高校ガイドブックの掲載

今年度も公立高校ガイドブックを作成します。学校の特色や進路情報だけでなく、入試情報や行事などへの取組み風景を写した写真も多く掲載し、受験生にとって有益な情報が満載です。7月上旬までには高校教育課のホームページに掲載する予定です。ぜひ楽しみにお待ちください。

□ (4) 公立高校文化祭日程一覧

夏から秋にかけて、今年も高校の文化祭が開催されます。生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。高校生の校内での活動を知る絶好の機会です。6月初旬には、高校教育課のホームページ上に、今年度の各高校の文化祭の開催日時を掲載しますので、ぜひ訪れてみてください。

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ (1) 白石高等学校

<東北大学合格者16名(現浪合計)の快挙>

旧白石高校(男子校)と旧白石女子高校が統合してできた新しい白石高校の最初の入学生が今年3月に卒業しました。以下本校卒業生の合格者数(延べ人数)についてお知らせします。

<国公立大>

現役62名+浪人16名=合計78名が合格
(東北大:現役9名+浪人7名=合計16名を含みます)

<主な私立大>

法政大現役10名、中央大現役6名+浪人1名=合計7名、青山学院大現役2名、上智大現役1名、明治大現役5名+浪人4名=合計9名、立教大現役5名+浪人1名=合計6名、早稲田大現役2名、立命館大現役3名、東京理科大浪人3名でした。
※最終進路先は本校ホームページに掲載していますので、どうぞご覧下さい。

→(ホームページはこちら) <http://www.hakko.myswan.ne.jp/>

□ (2) 村田高等学校

<夢と志を持った生徒の進路目標を確実に達成できる学校です。>

本校は、創立89周年を迎えた県内でも伝統のある高校の1つです。また、平成7年4月には時代と社会の要請に応え、宮城県で初、全国では8番目の総合学科が開設され、今年で19年目を迎えています。創立以来の卒業生は8,800名を超え、

地元を中心に全国各地で活躍しています。

本校は総合学科として、3クラスという少人数ながらも多様な進路希望に対応した選択教科を揃え、工業・商業・介護福祉等の実習施設も充実しています。平成25年3月の卒業生は、厳しい社会状況の中でも進路決定率ほぼ100%を達成しただけでなく、警察官、消防士、自衛官の公務員合格者、国立大学合格者を出すこともできました。

また、昨年度は「クラフトマン21」の事業の協力の下、高度熟練技能者の指導を受けたり、最新自動車技術の講演を聴き、県ものづくりコンテストの旋盤部門の出場、内燃機関の県内初の技能検定取得も果たしました。

村田高校はこれからも夢と志を持った生徒をきめ細やかな指導で応援してまいります。

→<くわしくはこちら> <http://murata-h.myswan.ne.jp/>

□ (2) 泉館山高等学校
<一人ひとりの夢の実現を目指して>

皆さんには将来の夢がありますか？泉館山で夢を一緒に探しませんか。自分を磨き、確かな学力を身につけるプログラムが本校にはあります。さらに、生徒一人ひとりを元気にする行事、一人ひとりを輝かせる部活動、一人ひとりの進路達成を支援するプランがあります。まずはホームページを見てみましょう。トップページに、「イルミネーション」というのがありますね。仲間との交流、信頼関係を深め、温かな光で活力と癒しを、という生徒たちの自主活動です。写真で雰囲気を感じてください。そして、創立30周年式典の生徒会長の「誓いの言葉」これからの泉館山を担う心意気が伝わってきます。中学生の君たちにも、ぜひチーム館山の翠（みどり）の若葉になつてほしいと願っています。校長先生の終業式・始業式、コモンタイムでのお話も読んでみましょう。ためになるだけでなく、館高生への愛にあふれ、本当に元気になるですよ。最近のニュースでは、吹奏楽部が、アンサンブルコンテスト東北大会で、クラリネットと打楽器が金賞受賞。さらに大規模で、全国高等学校選抜吹奏楽大会に出場しました。また、囲碁将棋部が県1位（女子団体・将棋）で全国大会出場を、テニス部が、男子ダブルス、男子・女子シングルス（春季ジュニア選手権）で東北大会出場を決めています！これからの高校総体でも、各部の活躍に期待です。注目してください。「学校生活」をクリックすると一年間の学校行事、部活動、制服（女子夏服が可愛いと人気）、タイムテーブル等が載っています。最後に、「教育内容」で「大志21」のグランドデザインや教育課程、「進路情報」の実績を確認すれば、本校が、県内屈指の進学校であることに納得できるはず。

→<くわしくはこちら> <http://www.izumit-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ (1) 柴田農林高等学校川崎校
<県下で最も小さな全日制普通科高校の挑戦>

柴田農林高校川崎校は、今年で創立65年を迎えた伝統ある全日制普通科の高校です。山形自動車道川崎ICのすぐそばに位置し、秀峰蔵王を仰ぎ見る豊かな自然環境に恵まれています。1学年定員40名の「県下で最も小さな全日制普通科高校」ですが、規模の小ささを活かして、地域と密着した、川崎校にしかできない教育を実践しています。

「小さな学校だからできることがあります。小さな学校にしかできないことがあります」このキャッチフレーズをもとに、生徒一人一人を大切に教育を積み上げ、生徒全員が輝く学校を築き上げてきました。24年度入学生の教育課程からは、理科教育充実と普通教育に関する科目の単位数拡充を図り、以前にも増して、進学・就職のどちらにも対応できるようになりました。また基礎学力向上のために、国・数・英において、少人数習熟度別授業を展開しており、不得意教科はじっくりと丁寧に、得意な教科はより深く進んだ内容を学ぶことができます。また普通科であっても教科農業を学ぶことができ、地域を支えるボランティア活動を積極的に推進するなど、「人」を育てる教育を組織をあげて実践しているのも大きな特色のひとつです。

□ (2) 宮城第一高等学校
<自主・自律>

- ◇在校生が語る「宮城一高」の魅力は？・・・・・・・・（H24生徒意識調査より）
 - ① 自主自律の精神のもと、自由でありながら責任のある行動をとる。
 - ② 志が高く、勉強・部活・行事に全力で取り組む。
 - ③ 個性豊かで積極的な生徒が多く、お互いを認め合う。
- ◇学校説明会に参加した中学生の印象は？・・・・・・・・（H24参加者より）
 - ① 勉強ばかりでなく、部活や行事が活発そう。
 - ② まじめだけでなく、明るく楽しそう。
 - ③ 予想より自由で、のびのびしていた。

◇「宮城一高」の特色は？・・・・・・・・・・・・・・・・（H24学校案内より）

- ①進学重視型の単位制高校であること
地元の国公立大学や全国の難関大学に、多くの生徒が進学しています。
進路志望に応じたきめ細かなカリキュラムが準備されています。
- ②普通科と理数科があること
普通科では2年、3年と選択科目が増え、個に応じた学習に対応しています。
理数科では理数系科目をより深く学習し、大学での専門教育につなげます。
- ③誇るべき伝統と校風をもっていること
116年の歴史をもつ屈指の伝統校で、各界で卒業生が活躍しています。
責任感に裏打ちされた自由な校風のもと、行事や部活動に打ち込んでいます。

◇自分で確かめたいときは？

【平成25年度第1回学校説明会】

日時：平成25年6月29日（土） 会場：宮城第一高校

※詳細は後日、ホームページに掲載します。

→<ホームページはこちら> <http://www.miyaiichi.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□（1）水産高等学校 教諭 平居 高志
| <水産高校の春>

仮設校舎から本校舎に戻って4ヶ月、震災から2年を経て、また春が巡ってきました。まだ完全復旧には遠い水産高校ですが、着実にかつての生活に戻りつつあります。少し現状をお知らせしておきます。

1年生は、早速カッター実習が始まりました。なかなか治せなかった一艇の修理が終わり、カッターは震災前と同じ二艇になって練習効率アップです。

栽培実習場では、海水循環ポンプと水槽の修理が終わり、水槽に水を入れられるようになりました。もう少しで泳ぎ回る魚を見られるようになるでしょう。施設全体が生き返ったという感じがします。

食品科学類型が管理している大型冷凍庫（-35℃）が動き始めました。缶詰工場はもう少し時間がかかりそうですが、仮設校舎時代に技を極めた「干物」作りなどが、より大規模に出来るようになりそうです。

マリンテクノ類型では、シャルビー試験機（金属材料の衝撃試験用）と旋盤が使えるようになりました。特に旋盤実習が再開できたのは、生徒諸君がすぐに役立つ技術を身に付ける上で非常に重要です。

学校の施設に頼るだけではなく、外にもよく出かけます。先日は、栽培漁業類型3年が、牡鹿半島の漁家と一緒に、わかめ取りをしました。宮水は、そのような実習風景をホームページで随時レポートしています。時々覗いてみてください。

（4月22日記）

■ 5 編集後記 ■

今年度初めての「高校教育課 情報メール」第38号をお届けします。

震災から2年が経過しましたが、まだまだ落ち着かない生活が続いている皆さんも大勢いることと思います。

そのような中で、受験生のみなさんはこれからの高校入試に向けた準備等で不安な気持ちになる時もあるのではないのでしょうか。

しかし、さまざまな困難に負けずに、自分の目指す夢に向かって努力して欲しいと思います。

高校教育課では、県立高校のホットな情報を提供し、中学生の皆さんの不安を少しでも解消できるようにと考えていますので、「高校教育課 情報メール」をよろしく願います！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626/FAX：022-211-3696